









## 地域支援事業

### 新しい環境の中で

瀬野川学園相談支援事業所相談支援専門員 次郎垣内 友成

新しい年度がスタートしました。小学校に入学する子、中学、高校、大学に進学する子、支援学校高等部を卒業して福祉事業所で働き始める子と新しい環境の中に飛び込んでいく多くの子どもたちのかかわりがあります。みんな不安とドキドキの気持ちを抱きながら新しい生活をスタートさせていきます。少しでも不安から自信につながるように直接その場面に伺って話を聞くようにしています。

新たなかかわりをより良い関係性に構築させていくために、情報、方向性の共有を示して行く事が必要となります。また、色々な視点を持ち多様な思考回路を持つておく事が大切になってきます。本人、家族を支える色々な立場の人がわかる場面で目標、目的を共有すること、一つのチームとして機能させる大切な役割が相談支援専門員にはあります。たくさんの方の視点を持つことで、本人の思いをこうだ！と決めつけてしまわない、本

人の思いを発信できるようになる事につながってきて、より本人の思いや考えがわかるようになると思います。いろいろな視点を持つて、考え方を共有してどんな思いを持つているのかを探りながらより良いサポートを見出していきたいと思います。

改めて、「サービス等利用計画（障害児支援利用計画）」の作成は本人の思いを実現するための一つのツールではないのです。相談支援専門員は、福祉サービス支給決定を受けるための計画作成するのがメインの仕事ではなく、本人や家族の夢や希望を叶えるためにかかわる人たちに同じ方向性を示して一緒に考えて行動していくチームを作っていく事が大切な役割だと思っています。

これからたくさんの方との会話を大切にして、一人でも多くの子どもたちが将来社会で本人なりの自立を行えるようにサポートしていきます。

## 卒園式

柏学園 目崎 結衣

三月二十三日、柏学園で卒園式が行われました。今年度は新型コロナウイルスが五類になり、保護者の人数を制限することなく、開催することができました。今年度卒園式に参加した園児さんは十四名でした。

昨年度柏学園に入職した私は、初めての卒園式となりました。卒園式の練習を行う年長さんを見守りながら、もう卒園が近いのだと寂しい気持ちになりました。

いよいよ卒園式当日、お子さんたちがかっこいいスーツや可愛いワンピースを着て登園されました。少し緊張した様子でモジモジしているお子さん、いつもと違う服装や雰囲気、様々な姿が見られました。そんな中、保護者の方が私に話し掛けて下さいました。お子さんが昨日、卒園式のためにスーツを着ていると、「目崎先生に見せる！」と言っていたそうです。そんなかっこいい姿を見ることができ、私も嬉しく思いました。

そして、卒園式が始まりました。らせん階段に並んで待ち、音楽が鳴り始めると自分の名前が貼ってある椅子の所まで先生と手を繋ぎ、入場

していききました。

次は、卒園式には欠かせない卒園証書授与です。今日まで練習を頑張ってきました。名前を呼ばれると緊張しつとも壇上が上がっていくお子さんたち。一人ひとり自分なりの受け取り方で卒園証書を受け取り、椅子に戻ってくる事ができました。その姿がとても立派で成長を感じました。

その後「思い出のアルバム」を歌いました。一緒に歌うお子さんやみんなが歌うのを聴いているお子さんなどみんなそれぞれのやり方で参加しており、素敵でした。

最後に退場していくたくましいお子さんたちの姿を見ることができ、とても良い卒園式になったと感じました。お子さんたちと過ごしたこの一年間はとても楽しかったです。来年度から卒園児さんが登園されないと、思うと寂しい気持ちもありますが、柏学園を思い出した際には、またいつでも遊びに来てください。

卒園児さんたちは四月から新しい環境となり、小学生になります。これからの新しい出会いを楽しみに卒園児さんらしく成長していきたく思います。





